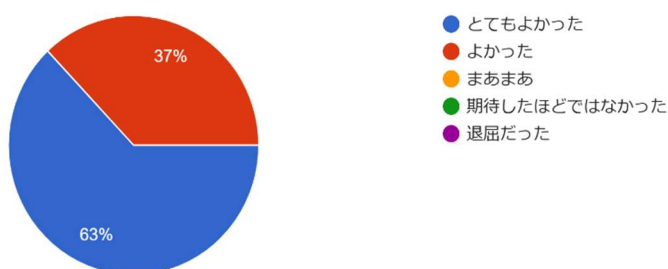


「フジヤマコットントン」上映会 報告

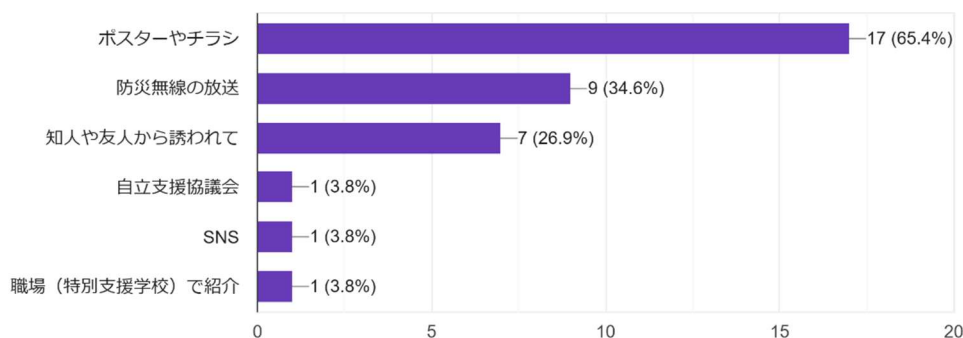
令和 7 年 1 月 11 日(土)中種子町公民館大ホール 午前 24 名 午後 24 名
令和 7 年 1 月 12 日(日)西之表市民会館大ホール 午前 30 名 午後 34 名
各日とも午前午後の二回の上映を行い、計 112 名の方に鑑賞して頂き、27 名の方からアンケート(Google フォーム)へご回答頂きました。

映画を観に来て下さった皆様、そしてアンケートへご協力いただいた皆様、どうもありがとうございました。

映画について
27 件の回答



今回の上映会のことを何で知りましたか？
26 件の回答



あなたの感じたみらいファームの魅力は？

個人の楽しみや好きな事を活かしている。作業に参加できるように工夫している。

自分は自分でいいんだと感じられる居場所であること

みんなが自分の出来ることを自分のペースで出来ていること

色んな人が集まってその人に向けた仕事が出来るところ。

一人一人が自分を生きている。それが自然で当たり前だと感じるところ

「フジヤマコットン」上映会 報告

働いている方がみんな楽しそうで、幸せそうにみえました ♪♪

ありのまま、自然体で生きる人たちと支える人(支え合っている)たち

ほんわかしあわせ

一人一人が自分のペースで生活を楽しんでいるところ。

笑顔が楽しく、働いてる。チームワーク。信頼関係が伝わりました。

仲間と協力すること、楽しく仕事をするところ

ポジティブな言葉が行き交うところ

笑顔が溢れているところ

みんな生き生きしていた。

出ること、興味のあることを仕事にしている。

本人のペース。意思を尊重している。

色々な意味で、『ありのまま』が詰まった暖かい所でした。

一人ひとりの個性を活かし、活かしたことで生きる力をエネルギーに替え友だちと、周りと一緒に生きて生活しているように思えた！

ファームのさりげない支援と優しさなのだと感じた。

個々にあった作業の取り組み、それぞれの人の心の動きをスタッフの方々が的確に捉えて支援されていた。

スタッフ会議で利用者さんの今を共有されていたのが素晴らしかった。

静かに穏やかに時が流れている感じがしました。全てが受け入れてもらえる場所なのかなと。

個性(能力)を仕事に活かせる

自分のペースで自分のやりたいこと、自分のちからをのばしていける

穏やか、いい表情、お互いを尊重できる関係、その人らしさを大切にする。

みなさんの笑顔 😊 キラキラ輝いて素敵でした。

明るい。

その方々にあった作業の提供をしていたところ

個性の尊重、個々の好きなことで活動や可能性を広げているところ

「フジヤマコットントン」 上映会 報告

印象に残った人物や場面があれば教えてください？

自分のやっている事(仕事)に向き合う時の表情が良かった。仕事って何？「みんなを幸せにすること」。

たつなりさんの「仕事ってなに？」の場面

絵を集中して細かく描いて更に色まで塗って、それをちゃんと額に入れて飾ってた所

ゆかさんとゆかさんを好きな人。(名前忘れました。)

恋愛していいのとたずねていた場面

仕事って何というやりとりの場面

めぐさんとゆかさんが織物をする姿や、出来上がった作品にとても感動しました。(^^)

恋に悩む青年、花を愛する青年

最後のたつなりさんの言葉

お墓参りの後の笑顔、お父さんも安心していることと思いました。

おおもりさん、スタッフが居なくなってから、孤独になった事。

大森佑太さん

1人が好きな大森くんが1人であることを誰も邪魔しないところ

機織りのお二方の作品完成の時の笑顔

大森さん

大森君の変化

仕事ってなに？ 恋愛してもいい？の問いかけ。考えるところでした。

いくつかありました。

たけしさんの描く絵が少し我が子と重なるところ。お父さん思いのけんちゃん。思いが詰まったお供えの花、とても素敵でした😊 少しずつ、笑顔を取り戻す大森さん。めぐさんの芯の思い。また、ゆかさんとのお互いを思いやる心。たつなりさんの、『仕事とは何ですか？』の問いにかけに考えさせられ、本人の答えが『みらいファームを幸せにすること』グッときました😊

大森さんの居場所が、ファームにあり安心できる場所であること！一人の場面が多い中にあっても牛小屋での経験や集団での経験から表情が少し変化が出てきたので経験の大事さを感じることもあった。

あなたにとって仕事はなんのためにするんですか？の質問でたつなりさんの回答が「ファームの人達の幸せのため！」とても素晴らしい言葉でした。今の世の中、「今だけ！金だけ！自分だけ！」と言われる。そのような人達に届けたいと思いました。

全員。ゆかさんやたけしさんの芸術感覚。たつなりさんの写真素晴らしいアングルだなあと感じました。けんちゃんの植物に対する感性すばらしかったです。登場人物皆さん素晴らしい方ばかりでした。

たつなりさん？仕事って何？と問いかける場面には、ドキッとしました。

けんちゃんの花への接し方も心に残ったし、めぐさんゆかさんの仲良しぶりも、大森さんの最後の方に見

「フジヤマコットントン」上映会 報告

せた笑顔も素敵でした。

めぐさん

仕事は幸せにしていくこと

場面で、一人自分の胸を叩き、見ていたもう一人も自分の胸を叩き椅子に座る。他にもありますが。

めぐさん&ゆかさんのすてきな織物が出来上がったときの喜ぶ様子

カメラマン、仕事は幸せと答えるシーン。

振られたと泣いていた。障害の有無に関わらず人には色々な感情がある。

たつなりさん(最後の仕事ってなあに?)の会話

映画の感想やご意見など、ひとことお願いします。

スタッフに見て欲しい映画です。何かに追われて働く事が仕事ではなくて、一人一人の個性が生かされ、楽しさや興味関心の中から生み出される仕事は、それに気づき支えているスタッフがいたから、みんなが幸せに働けるんだなと思いました。

何気ない日常の中に生きること、幸せになることが詰まっていることを教えてくれました。ありがとうございました！

みらいファームがすてきな環境の中にあること、職員さんとの信頼関係もステキでした

面白かったです。

やっぱり見に来てよかった

仕事とは、幸せにする事！

勉強になりました。(^^)

幸せについて考えさせられました。

だれもが、ありのまま生きていいんだ

いろいろありながらも、仕事を頑張ったり楽しんだりしている生活が伝わりました。

沢山の方に鑑賞して貰いたいです。

壁を感じさせない、頑張ってる姿に感動しました。

有難う御座います。

みんなが協力して仕事を頑張る姿がとてまかっこよくて、僕も頑張ろうと思いました。

「仕事」とはなんぞや、何のためにしているのか、がわからなくなっている時だったので、最後のたつなりさんの問いかけにドキッとしたし、たつなりさんの答えに涙が出ました。

彼らのように純粹に周りの幸せのために仕事と向き合いたいと思いました。

この機会をいただき、改めて感謝いたします。

「フジヤマコットン」上映会 報告

裏の状況を考えます

字幕は、アプリのみでよいように思います。

何か出ることが1つでもあればお仕事に繋げてあげる支援力。生活介護を利用されている方でも仕事に繋げられる可能性があり、支援者のアセスメントする力の重要性を改めて感じた。

普段、事業所に我が子を送り込んでいる母です。なかなか様子を見に行けない中、この映画を目にすることで、そこでの活動を想像することができました。

ありのままを、ありのままに出せる・・

そして、受け入れて頂ける全ての物に感謝です 😊。

言葉を発することない我が子が、自らの行動が難しい我が子が、どんな働きを・・

まさに、そこに居る事業所を幸せにすることが仕事であって欲しいと思いました。

生きていくこと！仲間がいること！いろいろなことを考えさせられた。ありがとうございました。

天地人に存在するすべての人(此处ではヒトに限定)のあり方にありがとう。と、伝えて頂きたいです。

心休まる、温まる時間となりました。

こんな場所がたくさんあったらいいなとも思いましたが、心穏やかに過ごせる場所を、自分たちが作っていかなくてはいけないんだよとも思います。

利用者が自分の言葉で自分を説明しているのが非常に良かった。

なにかをやらなければいけないではなく、それぞれのペースで自分らしく生きている。

ひとりひとりの個性をのばしていく職員の方もすごいなあと感動しました。

いつもの生活感が伝わります。各種学校や自治体福祉関係者、福祉以外の各種事業所など視聴機会があれば、障害の理解や障害のある人と共に働く障害者雇用の理解が広がるといいな。

仕事とは、みんなを幸せにすること 🎵

心にとめてこれからも前進させていただきます 😊 ありがとうございました

良い映像でした。人間味に溢れて、真摯に向かう姿が印象的でした。

色んな作業があるなーと勉強になりました。

普段、あまり目にする事のない施設内の様子を知る良い機会になりました。登場人物のそれぞれの個性に、どんどん惹かれていきました。まだまだ多くの市民の皆さんに見てほしかったですね。